

# くすのきだより



令和8年4月8日  
来迎寺小学校  
4月号

## 言葉の向こうにある思い

校長 吉富 靖

春の暖かな日差しに誘われて、学校の花壇の花も桜の木も満開になりました。お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。私たち教職員一同、子どもたちの笑顔があふれる学校にしたいと願い、新学期を迎えました。本年度の本校児童数は、1年生86名、2年生84名、3年生95名、4年生93名、5年生99名、6年生107名、全校で564名、22学級でのスタートになります。

さて、年度の初めに、卒業式でもお話しした友人との会話を紹介します。

彼は、小中学生の時、年に数回ある「お弁当の日」が嫌で嫌でたまらなかったと話していました。手が不自由な母親が作った弁当は、周りの子の弁当に比べて見栄えが悪く、恥ずかしかったようで、「弁当は店で買ってほしい」と彼は母親に言っていたそうです。高校生になると、給食がありません。だから、彼は毎日、店でパンを買ってから学校に通っていたそうです。しかし、高校2年生のある日の朝、突然、母親から「お弁当を作ったから持って行きなさい」と言われたと、言っていました。それからは、母親が毎日弁当を用意してくれていたそうです。この話には、続きがありました。弁当をうまく作ってあげられないことを申し訳なく思った母親が、近所の料理屋で一年間、店を手伝いながら料理を教えてもらっていたことを、先日初めて知ったと、彼は話してくれたのです。

「お弁当を作ったから持って行きなさい」この言葉の向こうには、母親の一年間の努力だけでなく、わが子への愛情や、これまで弁当を上手く作ってあげられなかったことへの申し訳なさ等、たくさんの思いが詰まっていたことは言うまでもありません。

たくさんの経験を積み重ねないと、言葉の向こうにある思いを感じることは難しいかもしれません。本校の校訓は、「なかよく がんばる やさしい子」です。学校生活を通して、仲間と「なかよく」活動する楽しさや喜び、「頑張る」ことで得られる達成感、友達の「優しさ」にふれた安心感など、かけがえのない経験をたくさん積み重ね、言葉の向こうにある思いを感じられる、優しい人に成長してほしいと願っています。

昨年度始まったコミュニティ・スクールは、来小はぐくみ会（学校運営協議会）を通して様々なボランティア活動を行い、子どもたちの豊かな成長を支えていただきました。本年度も、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力、ご助言をいただきながら、よりよい学校づくりに努めます。どうぞよろしくお願いたします。